令和８年度９月定例教育委員会議事録

【日時】
令和８年９月 17 日（木）
開会　午前９時 00 分
閉会　午前 11 時 40 分

【会場】
辰野町民会館 104 学習室

【出席者】
10 名
（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤　和德
教育長代理	飯澤　隆
教育委員	垣内　由佳
教育委員	関　　政彦
教育委員	萩原　多恵子

（事務局関係）

学びの支援課長	菅沼　隆之
学校支援課長	竹村　智博
学校支援課長補佐	赤羽　徳幸
教育総務係	中沢　大輔
社会教育係	荻野　奈実

【傍聴者】
０名

【次第】

１　議事

（１）【非公開】就学の判断について

（２）【非公開】準要保護援助費の認定について

２　協議

（１）【非公開】学校の様子・運営上の諸課題

（２）全国学力学習状況調査結果から

（３）最近の教育行政についての意見交換

・明日も行きたくなる学校、明日も学びたくなる（挑戦したくなる）授業・活動

・令和の日本型教育（個別最適な学び・協働の学び）

・学校の当たり前・新たな学校の当たり前

（４）小中学校の今後のあり方及び推進について

（５）その他

３　報告事項

（１）９月定例町議会一般質問より

（２）「ふるさと辰野」編纂委員会報告

（３）市町村教育委員会連絡協議会報告

（４）その他

○開会

１　開会宣言

２　会期の決定

・会期については１日とする。全員異議なし。

３　議事録の承認

・承認。

４　宮澤教育長挨拶

おはようございます。今日は、事務局の都合により午前中の会議ということでお集まりいただきました。ありがとうございます。

さて、私、この９月末をもちまして、４期 12 年の教育長職の任期が満了、退任いたします。長い間、教育委員の皆様には大変お世話になりました。

振り返ってみますと４期 12 年間は、確かに長い期間ではあり、60 歳で教育長を引き受けた私も今はすでに 72 歳、年が明けますと 73 歳、無理の利かない体となっています。でも、私自身の感覚としては、長かったという実感はなく、就任した日を昨日のように思い出します。本当にあっという間でした。

この間、様々なことがありました。楽しいことが多々ありました。想定していなかったこともありました。対応に苦慮したこともありました。でも辛いとか苦しいとか思ったことはありませんでした。これも皆、教育委員の皆様が常に支え、正しい方向を示し、力強く後押しをしていただいたり、多くの助言、提言、町民の声を拾い上げていただいたりしたおかげと感謝しております。このことはまた最後に話をさせていただきます。

季節も一気に大きく動きましたが、連日の雨々、雨、うんざりする雨です。稲刈りの時期を迎えていますが、なかなか叶いません。来週前半には、新たな台風 25 号の接近も予想されています。また、季節外れですが、インフルエンザも出始め、町内でも中学校では職員一人、生徒複数人の感染者が確認されています。コロナも上伊那で出ていて、いろいろが変わってきているようです。

先月、町教育委員会と町公民館が、広く町民対象に行ったクマについての講演会ですが、西小、南小は参加者も多く、５会場全体で 125 名の参加が確認できました。これから秋も深まっていくにつれ、クマとの遭遇も多くなりそうで、十分気を付けて対応したいものです。

さて、今日の定例教育委員会では、議事として、就学の判断、準要保護援助費認定、協議として学校の様子や運営上の諸課題、全国学力学習状況調査の結果から、また小中学校の今後のあり方等になります。それではよろしくお願いします。

５　議事

（１）【非公開】就学の判断について

・教育総務係中沢より説明。承認。

（２）【非公開】準要保護援助費の認定について

・赤羽学校支援課長補佐より説明。承認。

６　協議

（１）【非公開】学校の様子・運営上の諸課題について

・宮澤教育長より説明。

資料として「学校の様子及び運営上の諸課題」、「９月校長会資料」を提示。

（２）全国学力学習状況調査結果から

・宮澤教育長より説明。

資料として「令和８年度学習状況調査からみえる児童生徒の生活・学習状況」を提示。

＜宮澤教育長＞

ＩＣＴ、タブレットを使った学びに関して年々「あてはまる」の数値が低くなっている。このことは町教育委員会としては真剣に考えていかなければならない。

＜竹村学校支援課長＞

タブレットは使うことが前提なので、授業の中で数分でも必ず使うなどとした後で、どう変えていくかなど考えるのがいいのではないか。

＜Ａ委員＞

西小学校訪問をしたときに、タブレットが保管する一部屋に入れたままになっていて、子供の手元になかった。やはり教室に持っていくなどして、いつでも使えるようにする必要があるのではないか。

＜Ｂ委員＞

ある中学校の数学の授業公開に行ったところ、クラスの生徒の多くが「どうせ無理」「やっても変わらない」という雰囲気になっているように感じた。その学校だけの問題ではなく、他の中学校でも少し出てきている。子供たちがそうならないように、スモールステップにしていく必要がある。子供たちの自己肯定感に

関して、努力されている先生方が増えてきているように感じる。しかし、与えられる評価だけでなく、自分で努力して「できた」「わかった」という経験を得ることで、さらに学校が楽しくなるのではないか。

＜Ｃ委員＞

中学校では先生が作成した独自のテストをおこなっているが、中には問題数が多く時間が足りなくなるなど、何を基準にテスト問題を作成しているのか。高校入試に向けて学校のテストの成績がどの程度参考になるのか不明。

＜宮澤教育長＞

現在の学習指導要領では、読解力が求められる。テストの点が低くなっているのは、今までの学習指導要領から大きく変わっていることも関係しているのではないか。

＜Ｄ委員＞

他校では、学校からのお知らせを保護者がタブレットで読めるようになっているところがある。タブレットを活用していってほしい。

（３）最近の教育行政についての意見交換

・時間の関係で割愛。

（４）小中学校の今後のあり方及び推進について

・宮澤教育長より説明。
資料として「小中学校の今後のあり方及び推進について（案)」を提示。

・今後の流れについて説明。10 月以降保護者からの意見を集約。先生・生徒・保護者の意見を集約した後、総合教育会議を開催し、町長部局と情報を共有する。

７　報告事項

（１）９月定例町議会一般質問より

・宮澤教育長より各議員の質問内容と質問に対する答弁内容を報告。
資料として「令和８年度　９月定例町議会一般質問報告」を提示。

＜竹村課長＞

小中学校における職員の労働環境について、現在の町が採用している職員は合計 70 名となっている。処遇については、町で定めている規則を適用している。

給食室に関してはその都度対応をしているが、熱を発する窯や大きな調理器具が多い関係で、なかなか空調が効かないことがある。校務技師は真夏での作業があるため、ファンのついた作業着を取り入れている。

支援員や専門スタッフの執務場所や休憩場所などは、学校によっては職員室が手狭になってしまっているところもあるため、それぞれの学校の状況を確認する。休息時間は労働基準法に沿っているが、中には適切な休息が取れていない職員がいる可能性があるため、確認し検討したい。

大雨により複数の学校で雨漏りが報告されている。今後対応を検討していく。

小中学校を避難所として使用する場合の空調について、西小は設置済み。その他の学校は、集約の検討も考慮しながら進めていく。空き教室を避難所として利用する案については、少子化で児童数の減少はあるものの、支援を要する児童の増加により空き教室はほとんどない現状。また、空き教室があっても上層階が多いため、避難所利用は難しい。

（２）「ふるさと辰野」編纂委員会報告

・宮澤教育長より説明。

ほとんど資料が出そろい、編集の段階に入っている。

＜赤羽学校支援課長補佐＞

来月には業者の選定をして、11 月に業者の決定とデータの作成、発注をする。大体 700～800 冊ほどを作る予定。

＜宮澤教育長＞

表紙に使う良い写真があればいただきたい。

（３）市町村教育委員会連絡協議会報告

・宮澤教育長より説明。

資料として「８月市町村教育委員会連絡協議会（報告)」を提示。

（４）その他

・菅沼学びの支援課長より９月 26 日（土）のほたるの里小学生駅伝・満蒙開拓団講演会、27 日（日）の町民会館 40 周年記念事業リハーサルについて説明。

・赤羽学校支援課長補佐より 10 月 23 日（金）の長野県市町村教育委員会について説明。

8　閉会